



銀杏《愛校 自主自律》

◎実りある学校生活に……

創立記念日特集



9月9日は、本校の創立記念日です。2009年 吉野中学校と、翌2010年 漆山中学校と統合し、“新生宮中”としてスタートして以来、16年目を迎えています。私は、毎日、この立派な校舎で、仲間と一緒に学ぶこと、生徒の皆さんと一緒に過ごせることは、とても幸せなことだと思っています。これまでの先輩方もそうですが、現在の宮中生も、丁寧に清掃していたり、整理整頓されていたり、校舎を大事に使ってきました。これから、校舎をきれいに使うということが続けてほしいと思います。

統合初年度、全校生は336人。新しい学校になるにあたり、校歌やジャージも新しくなりました。校舎も統合を機に新しくなり、2010年 12月からこの校舎での学習がスタートしています。

創立記念式にあたり、宮内中学校の校門から生徒昇降口までのアプローチの東側にある60個の石について、実は、その上にある生き物の彫刻も含めた全体が一つの“作品”となっていることについて、話をしました。統合に際し創られた、思いや願いが詰まった作品です。

この作品は、南陽市出身の彫刻家 高橋 朗 さん によって創られました。高橋さんは、現在静岡県伊東市を拠点に全国で活躍中です。高橋さんが、南陽市のために、宮中のためにどんな思いで創られたのか、当時の資料を読み解くと高橋さんのあたたかい言葉が残っていました。その一節を紹介します。

……漆山地区・吉野地区から産出した自然石をその土地で生まれ育った皆さんになぞらえて配置しました。どの石も色味や形にそれぞれ特徴があって、どれひとつ同じものはありません。それこそ、皆さん自身に他なりません。テニスコート側の芝生に覆われた盛土や緑地を里山に、アスファルトの平らな舗装部分を水辺に見立て、そこに60個の石をうねるような曲線状に配置しました。さらに、石の所々には、里山や水辺にまつわる生き物の彫刻を取り付けました。



人も様々な生き物も同じ環境の下、絶妙なバランスを保ちながら共に生きています。皆さん、天気の良い日は校舎を出て、それぞれ自分のお尻に合った石の上で生き物の彫刻と共に腰を下ろし、大きく息を吸ってみましょう。太陽の下、土の匂い、季節の風、四季のうつろいを五感を持って感じてください。

60個の石の配置を校舎上階から見下ろす時、うねる石を蛇になぞらえることができます。昔から、私たちの先祖は家につく蛇を屋敷の守り神として大切にしてきました。そうした先人の思いをこの60個の石に託す時、これらの石は「皆さんの学び舎を守るもの」として、健やかな学校生活を見守ってくれること

でしょう。盛土のてっぺんにある、ひと際大きな石の上にいるどんぐりを手にするリスには、3年間の学校生活を実りあるものにしてほしいという思いが込められています。…

高橋さんは、この作品に、このような思い・期待を込められました。この思いは、高橋さんだけではなく、保護者や地域の方々も同じであり、それは、今も続いているのではないかなと思います。生徒数が少なくなってきた今、実りあるものにしてほしいという願いは、むしろ、強まっているのではないかなと思います。(⇒裏面へ)

15年の間に、自らの目標達成のために宮中で力をつけた先輩方、学校に対する地域の期待にも応えてきた先輩方が、たくさんいます。そして、全力でサポートしてきた先生方。このことは、16年目をむかえる今も、変わりありません。

脈々と受け継がれる思いを知り、今をどう生きるか。創立記念日を機に、ちょっと自分の思いを強くしてもらいたい。石に座って、青空を見上げて考えてみるのもいいかもしれません。これから、秋の風が、心地よい季節になります。そんな時、この作品を見上げながら、自分の思いを深めてほしいと思います。

式の最後に、私は、「15年間宮中生を見守ってきたこのリスに、今の宮中の様子を報告するとしたら・・・。」と問いかけました。生徒の言葉を紹介します。



- ◎ 普段気にかけていなかった盛土の石にそんなメッセージがあったことを初めて知った。作者からのあたたかい言葉に、宮内中学校は、以前から地域の人に信頼され、地域に貢献してきたということがわかり、自分もあたたかい気持ちになれた。今まで、宮内中学校を見守ってくれたリスをはじめ、その他の動物達に、まず、感謝の気持ちを伝えたい。そして、この伝統ある宮内中学校で学んだことを社会で生かしながら、人生を歩んでいきたい。これからも私たちの後輩を見守ってほしい。
- ◎ 私がもし、リスに語りかけるとしたら、「少しずつだけど必ず実りあるものになっていると思う。」と語りかけます。中学生になって2年がたった今、パッと見、ぜんぜん成長していないように見えますが、確実に成長していると思います。来年には、みんなの手本になれる3年生になれていればいいな、と思いました。

第67回 山形県 こども絵画 展覧会

県展賞 3年 菊地 真央 **入選** 3年 星 ありさ

菊地さんの作品(タイトル:私を形作るもの)は、学年ごとの最高賞にあたる「県展賞」に選ばれました。おめでとうございます。

作品は、県内各地を巡回します。置賜は、9/18(水)～23(月・祝)よねざわ市民ギャラリーに展示されます。

第13回 科学の甲子園ジュニア 県一次予選に挑戦!

本年度初めて上記の大会に6人の生徒が参加しました。物理・科学・生物・地学・数学・情報の各分野の問題を、6人で力を合わせて解きます。今回、惜しくも本選出場は叶いませんでしたが、出場17校中第7位。成績トップの分野もあるなど、ナイスチャレンジ! でした。

参加生徒(2年生)

石黒 千倅・狩野 律葵・高橋 凧・金子 帆希・土屋 湊乙・渡部 芽生



宮内中学校公式 HP (<https://miyatyu.sakura.ne.jp>) 公開中!

日常の学校生活の様子を紹介しております。どうぞお立ち寄りください。

宮中生の活躍は、で検索  ポチっと♪

← QRコードからもリンクします。